

第 40 回国際核酸化学シンポジウム (ISNAC2013)
各種賛助事業 (展示会への出展・予稿集への広告・寄附)
募集に関するご案内とお願い

謹啓 貴社におかれましては、時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび 2013 年 11 月 13 日・15 日、横浜市・神奈川大学セレストホールにおいて第 40 回国際核酸化学シンポジウムを開催することになりました。つきましては、本シンポジウムに対する御援助を賜りたく、以下の企画を立てましたので、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

さて、核酸化学シンポジウムは核酸化学を主題とする国内最大のもので、40 年近い長い歴史を有し、日本の核酸化学研究を世界レベルに発展させるのに貢献してきました。近年では、ゲノム科学への関心の高まりから、本研究分野はますます重要性を増してきており、基礎研究から医薬応用研究に至る幅広い分野の第一線の研究者が学問領域の枠を超え、一同に会して成果を発表、討論する重要な場となっております。本シンポジウムは、毎年海外から数多くの招待講演者を招き、世界的レベルで研究交流、情報交換を行ってきました。このような背景のもと、平成 17 年度開催の第 32 回大会から定期的に本シンポジウムを国際会議として開催しております。

第 40 回国際核酸化学シンポジウムでは、上記最先端の核酸化学研究に加え、核酸医薬や、核酸を用いたナノテクノロジーへの応用研究もトピックスとして加え、より幅広い研究成果の発表ならびに活発な質疑応答を通し、多方面の科学発展に貢献することを目指しております。また、若手講演者賞や学生ポスター賞の授与も計画しており、人材育成にも努める所存でございます。詳細に関しましては、学会のホームページ (<http://web.apollon.nta.co.jp/ISNAC2013/index.html>) をご高覧賜れば幸いです。

国際核酸化学シンポジウムは、母体となる学会を有しておらず、主に参加登録費を始め参加者の負担で運営されております。自己負担金に加えて、従来は、日本製薬工業協会からの寄付金が重要な財源となっております。しかし、不況のおり、日本製薬工業協会から脱退される企業も多く、例年に比べ寄付金が減少しております。

そこで日頃より本研究分野の振興と発展に多大なるご理解を賜っております諸企業、諸団体および機関に格別のご援助をお願いする次第でございます。

諸経費御多端の折、誠に恐縮に存じますが、何卒、本シンポジウムの趣旨を御理解いただき、御支援、御援助を賜りますようお願い申し上げます。

本シンポジウムを成功させるため、実行委員一同努力して参りますが、貴社よりのご援助を賜ることができれば、幸甚に存じます。国内外の諸情勢も厳しい折、誠に恐縮ではございますが、当会開催の事情をご賢察の上、ご支援ご援助を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

小野 晶

第 40 回国際核酸化学シンポジウム実行委員長
神奈川大学工学部・教授
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
TEL: 045-481-5661(内線 3887), FAX: 045-413-9770
e-mail: isnac-2013@kanagawa-u.ac.jp

<http://web.apollon.nta.co.jp/ISNAC2013/index.html>

寄付・広告・機器展示 応募要項

- (1) 募金の名称： 第40回国際核酸化学シンポジウム寄付金
- (2) 募金目標額： 1,500,000 円
- (3) 募金の内容：
- | | | |
|-------|-------|--------------------|
| 寄付 1口 | (A) | 50,000 円 |
| 広告 1件 | (B-1) | 100,000 円/裏表紙、 |
| | (B-2) | 70,000 円/裏表紙内側、 |
| | (B-3) | 50,000 円/1 ページ、 |
| | (B-4) | 25,000 円/半ページ |
| 展示 1件 | (C) | 150,000 円/1 ブースあたり |
- (4) 募金期間： 平成 25 年 5 月 20 日～平成 25 年 10 月 4 日
- (5) 寄付金用途： 第 40 回国際核酸化学シンポジウムの準備および運営
- (6) 寄付金の払込方法：
- 以下の銀行口座に、平成 25 年 10 月末日までにお振込みをお願いします。
- 銀行名： 横浜銀行
- 支店名： 六角橋支店 (店番号 371)
- 口座番号： 普通預金 6066193
- 口座名： ISNAC2013 (アイエヌエヌエーシー2013)
- (7) 募金責任者：
- 神奈川大学工学部 教授
- 小野 晶
- 〒 221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
- TEL: 045-481-5661(内線 3881), FAX: 045-413-9770
- e-mail: isnac-2013@kanagawa-u.ac.jp

平成 25 年 6 月 3 日

第 40 回国際核酸化学シンポジウム
実行委員長 小野 晶

第 40 回国際核酸化学シンポジウム開催計画書

第 40 回国際核酸化学シンポジウムを開催するにあたり、以下のように計画しております。

記

開催趣旨	近年のゲノム科学への関心の高まりから、遺伝子の化学的本体である核酸を扱う化学研究はますます重要性を増してきている。本核酸化学シンポジウムは核酸化学を主題とする国内最大のものであり、40年に近い長い歴史を有し、日本の核酸化学研究を世界レベルに発展させるのに貢献してきた。本シンポジウムの特徴は、各学会で個別に活動している幅広い分野の第一線の研究者が学問領域の枠を超え、一同に会して成果を発表、討論する場となっていることである。基礎研究から医薬応用研究に至る幅広い主題に関して、国内外からの招待講演 10～15 件、約 50 件の口頭発表、約 150 件のポスター発表が行われ、大学、公的研究機関、企業から約 400～500 名程度の参加者による活発な討論がなされる。本シンポジウムは要旨集も英文で作成し、毎年海外から数多くの招待講演者を招き、世界的にも高いレベルである我国の核酸化学研究を国内外に発信する手段として高く評価されている。本シンポジウムの継続は、我国の核酸化学に関する基礎研究と応用研究の更なる発展に大いに貢献するものである。
開催日時	2013 年 11 月 13 日 (水) ～ 15 日 (金)
開催場所	神奈川大学セルストホール 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
主催機関	第 40 回国際核酸化学シンポジウム組織委員会*
討論主題	ヌクレオシド、ヌクレオチド、オリゴヌクレオチドならびに核酸関連化合物の有機化学、医薬化学、物理化学、分析化学、生化学、分子生物学およびバイオテクノロジー。特に今回のシンポジウムでは、招待講演を通じてヌクレオシドやヌクレオチドの医薬への展開に焦点をあてる。
内容	特別講演・一般口頭発表・ポスター発表
特別講演講師	国外 10 名、国内 3 名 予定
参加者数	約 450 名程度 (うち 国外 45 名程度：招待講演者を含む)
参加費	参加登録 一般予約 25,000 円 学生予約 8,000 円 一般当日 30,000 円 学生当日 10,000 円
実行委員長 および連絡先	小野 晶 〒 221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1 神奈川大学工学部 TEL: 045- 481-5561, e-mail: isnac-2013@kanagawa-u.ac.jp
ホームページ	http://web.apollon.nta.co.jp/ISNAC2013/index.html

*核酸化学シンポジウム組織委員会は核酸化学に関する国際学会 (International Society for Nucleosides, Nucleotides and Nucleic Acids, IS3NA) の実質的な国内窓口となっている。